



あたたかい手作りの味いつまでも



▲角寿司を調理する参加者

郷土料理講習開かれる

手作りの郷土料理を後世まで伝えていこうと、五月八日、緑防災センターしづおり館で料理講習会が開かれました。これは、地域の活性化に努めている倭文ふれあい広場地域推進委員会(加地耕史会長)が、昔から地元で伝わる温かい郷土料理を伝承することを目的に行われたものです。この日、多くの地元住民の方が参加。「角寿司」や「草

もち」などの作り方を生活研究グループや県農業改良普及員の指導を受けながら、手際よく作っていました。角寿司は、約5cm四方の木枠に具をいれた酢飯を入れ固め、上にあなごや薄焼き卵、紅しょうがなどを載せます。また草もちは島内で摘み取ったヨモギを餅の生地と一緒にすり鉢で混ぜ皮を作り、その中にあんこを入れ、手で丸めます。この後参加者全員でできた料理を食べ、舌鼓を打っていました。

交流の花、満開

第6回あわじオープンガーデン

自宅の庭や沿道の花壇などを開放し、季節の草花やガーデニングの趣を満喫してもらおうと「第六回あわじオープンガーデン」(嶋一史会長)が五月十二日・十三日、南淡路地区で行われました。五月十九日・二十日には北淡路地区でも開催され、淡路島内七十一会場に延べ約二十五万人が訪れました。

財前治子さん宅(潮美台)では、庭一面にバラやジギタリス、アグロステンマなど色とりどりの花が咲き誇り、訪れた人々を魅了。庭の中にテーブルが設置されており、そこでお茶も振舞われました。財前さんは花の名前や手入れの仕方などの話をしながら、訪問者らと交流を楽しんでいました。



▲ガーデナー庭を見学する訪問者(財前さん宅)

阿万上町公会堂他が重要な建造物に

景観形成重要建造物等に指定される



▲阿万上町公会堂と消防団屯所、だんじり小屋、半鐘台(左から)

阿万上町の公会堂と消防団屯所、だんじり小屋、半鐘台が、三月三十日、県の景観形成重要建造物等に指定されました。「景観形成重要建造物等」とは、地域の景観の形成に重要な役割を果たしている建造物や工作物、樹木のこと。兵庫県では、優れた景観の保全を目的に、平成十七年度からこの指定を始め、十八年度は十件を決定し、その内一件に阿万上町公会堂他が選ばれま

した。淡路島内での指定はこれが初めて。選定理由として、公会堂は昭和初期の集会施設の姿をよく残し、現在も集会や郷土芸能の練習等で住民に活発に利用されている。また、だんじり小屋と消防団屯所、半鐘台が、四つひとまとまりになって南淡路特有の風景を創出していることなどが主なものです。阿万上町自治会では今後、建造物等の景観が損なわれないよう、県の助成を受けながら適切に維持管理に務めていきます。

情感豊かに歌い上げる

素人浄るり全国大会が開かれる

淡路人形協会設立三十周年を記念する第七十七回淡路素義審査競演大会「素人浄るり全国大会」が五月五・六日の二日間、榎列公民館で開かれました。

この日、島内外から四十三人が参加。詰め掛けた多くの浄瑠璃ファンを前に、情感豊かに「傾城阿波鳴門順礼歌の段」、「壺坂観音霊験記沢市内の段」、「絵本太功記十段目

尼ヶ崎の段」などを歌い上げていました。また、義太夫節三味線保持者の人間国宝、鶴澤友路師匠も熟練された三味線の音色を披露。大会を盛り上げました。

この大会は、浄瑠璃の普及と愛好者の技術向上を目指して、昭和二十六年から続く伝統ある大会で、これまで多くの方が自慢ののどを披露されています。



▲人間国宝・鶴澤友路師匠(右)の三味線に合わせて熱唱する義太夫

春の褒章

菊川益子さんに黄綬褒章

優れた業績を重ね、社会に貢献した人や団体に贈られる褒章。長年助産師として精励してこられた菊川益子さん(福良)が、このほど黄綬褒章を受章しました。菊川さんは、看護師と助産師の資格を取得しての帰郷後、母親の助産所で勤務。昭和36年に後を継がれ、これまで約1万人もの赤ちゃんを取り上げてきました。1日4人の誕生に立ち会うこともあり、忙しい上に人命を扱う責任ある仕事を全うされてきました。その間一件の事故もなかったのは、本人の技量と熱意の賜物です。



▲菊川さん

おめでとう

福井ガザニア会に大臣表彰



▲道路沿線に花を植える福井ガザニア会の皆さん

福井ガザニア会(松崎みよし代表、会員十四人)が第十八回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受けました。同会は、賀集福井地区の県道等の沿線に設置したプランター百基と二箇所の花壇に、会員が種から育てた年間約二万本もの花苗を植えています。また体育館や公民館などの緑花や清掃活動に十年間、ボランティアで取り組まれています。

山崎元和さんに県功労者表彰

山崎元和さん(広田)に兵庫県功労者表彰(教育功労)が贈られました。

山崎さんは、柳学園で教頭を含め三十八年の教員生活をおくり、生徒の心身教育に心血を注がれました。またポルト部顧問として平成五年東四国国体で男女優勝させるなど、ポルト競技における指導力を発揮。その他、スポーツ関係の役職を歴任。指導者の立場で競技の強化に努めたことなどが認められたものです。

西田大誠くんが命名

国立淡路青少年交流の家では、同施設のシンボルキャラクターと愛称を募集。結果、キャラクターに杜多利香さん(神戸市)の作品が、愛称に西田大誠くん(灘小5年)の作品が採用されました。



愛称：スイちゃん